

# 県民たすけあい基金助成事業紹介

## NPO法人 K H J にいがた「秋桜の会」

理事長 三膳克弥

〒950-0167 新潟市江南区五月町1-2-9

電話 090-8873-4453

※KHJは「家族・ひきこもり・ジャパン」

### 親や家族を介して当事者サポート

当会は、唯一の全国組織である「NPO法人全国引きこもりKHJ親の会」の新潟支部です。全国に約50ある支部の17番目として平



成13年9月に開設しました。

「ひきこもり」への支援は、その特異性からいって相談機関へ当事者が直接訪れることは少なく、親や家族などの相談から始まりまず、親や家族への支援の延長上に当事者との関わりがあることになり、当事者に繋がるまで長い時間がかかります。そのため、どうしても親や家族への支援が重要になります。

新潟県は南北に長いため、「秋桜の会」は、新潟本部の他、新発田、長岡、

十日町、上越に支部を置き、支部毎に月例会を行っています。

今年2月には、海を隔てた佐渡市民の強い要望を受けて、佐渡支部を立ち上げました。

新潟本部の活動は、隔月で講師を招き講演会を行い、他の月は勉強会、ピアカウンセリングを行っています。

支部では、県民たすけあい基金の助成を受けて、KHJ公認の助言者・ピアサポーターが訪問し、勉強会やピアカウンセリング活動を行っています。参加者数



は15〜25人位で、会場によつては4〜6人の時もありますが継続が大切だと考えています。

ピアカウンセリングは、同じ悩みを持つ者同士が出会い、お互いに励まし合いそして共感し、経験に基づいた話をすることで安心して相談をすることができます。ピアカウンセリングを通じて、心が安らぎ、心強い勇気を貰うことで、間接的に当事者の社会参加を促しています。

その他、アウトリーチ事業では、ひきこもり当事者へのアウトリーチは当然の

ことですが、親のサポートも必要だと考えています。私たちが行うアウトリーチと他の人が行うアウトリーチの違いは、親の気持ち分かり本音で話が出来ることです。ひきこもりの当事者を支援する場所や支援者は多くいますが、親や家族を支援する場所や支援者は殆どいないと思います。親でなければ分からない苦労などがあり、他の支援者では親の気持ちは決して分からないのです。

ひきこもりの当事者が悩み、苦しんでいることは皆が理解していますが、それと同じか、それ以上に悩み、苦しんでいる親や家族がいることをどの位の人が知っているでしょうか？ 親をサポートすることで親の気持ちや軽くなり笑顔や笑い声が出る。それがひきこもりの当事者に伝わり、天岩戸の神話に出てくるようになると思います。親は最大の支援者だと思い、会の活動を行っています。